

▼△▼ アバカスサーキット(F1) ランキング表(100点以上) ▲▽▲

25年1月現在、教室に在籍中の生徒のF1 得点順位表は右のとおり(24年12月までの大会)。

- ✓ アバカスサーキットへの挑戦回数は参加者によりバラツキはあるものの、10~20回目
- ✓ 記録更新した達成月をみると全員が昨年9月から12月の期間中にベスト記録を更新
- ✓ 点数がアップすればするほど伸びしろは少なくなり同時に記録更新は難しくなるが、全員が最近3か月内にベスト記録を達成。ということは、まだ進化中ということであり、さらなる点数のアップが期待できそう
- ✓ 種目別に大きな偏りは見られず、各種目の点数が大体均等になっている(苦手種目がない)
- ✓ あとちょっとで100点に届きそうな生徒もたくさんスタンバイ中(ガンバレ~!)



順位	氏名	学年	合計	乗算	除算	見取	達成月
1	首藤 菜仁	小6	226	74	70	82	24年12月
2	伊藤 彩羽	中1	220	68	78	74	24年12月
3	伊東 大輝	中2	220	64	78	78	24年11月
4	鈴木 桃寧	小5	200	66	64	70	24年11月
5	原田 龍晟	小6	162	46	58	58	24年9月
6	平手 九	小5	150	44	48	58	24年11月
7	島 慶多	小6	136	42	46	48	24年12月
8	中末 陽大	中1	134	42	46	46	24年12月
9	細田 佳吾	小5	130	50	38	42	24年10月
10	影山 琴	小5	130	42	46	42	24年12月
11	中末 妃愛	小6	128	42	42	44	24年12月
12	陶山 結瞳	中1	120	42	44	34	24年12月
13	池田 充希	小6	113	37	41	35	24年10月
14	小林 美緒	小5	102	34	36	32	24年12月

* 首藤菜仁さんは今月(1月)大会で242点をとりベスト更新!

アバカスサーキットでは F2_150点達成でイエロー文鎮、F1_100点でグリーン文鎮をゲットできるシステム(以降、50点ごとに色違いの文鎮をゲット)。

しかしながら、F1で100点以上を取るのとはそれほど容易なことではありません。シッカリした珠算式暗算力が身につけていないと到底、100点には届きません。F2からF1に入った直後は多くの生徒は10番までは暗算で、11番以降はそろばんでスタートしますが、この方法だとどんなに頑張ってもなかなか100点には届かない状態が続きます。下にも書いてありますが、やっぱり暗算力がモノを言います。F1開始後いきなり全て暗算でやるのはハードルが高いので、当面の目標として3種目とも20番までは暗算で出来るように練習していくうちに少しずつ点数が伸び始め気が付くと100点到達になります。

かけ算の11番以降の3桁×2桁がスムーズに出来るようになるためには、その手前の2桁×2桁がほぼ完璧に出来るのが絶対条件。そのうえでアタマの中の‘イメージそろばん’を使い、珠を入れる位置に注意しながら処理していきます。一方、わり算はかけ算と違い選択する答えが複数あるので、途中でやり直すことがおおく大半の生徒が当初は戸惑います。ただし、20番までは割る数が2桁なのでポイントを押さえて練習すれば自然に慣れてくる人が多いようです。みとり算は苦手意識をもっている生徒は多く、すぐに効果が出る特効薬があるわけではありませんが、やはりアタマの中にある‘イメージそろばん’の珠を正しい運珠で弾き続けることが上達につながっていく道筋。みとり算は答えの1違い、10違いがとにかく多い種目、‘リアルそろばん’と‘イメージそろばん’とが常に一致できるようにアタマのなかで意識しながら練習していく姿勢が大切。

前述したとおり F1での100点達成は決して簡単ではありませんが、しかしながらそれ以降の150点、200点、250点への到達と比べると遥かにハードルは低いので、未達の人はずはこのレベルを目指してGO~。一歩ずつ確実に前進しよう!

◆ 教室でのアバカスサーキットの進め方 ◆

- ① 全珠連あんざん検定の4級に入り合格点(3分間で20問中14問70点以上)が取れそうなタイミングでアバカスF2をスタート
- ② アバカスはソロバンでやっても暗算でやっても良いが、前者は1問1点、後者は1問2点という決まり。開始直後はソロバンを使用してもOKとするが、最終的にはF2はすべて暗算で行うように指導する
- ③ F2で150点以上をとると、次回から自動的にF1へランクアップ
- ④ F2と比べるとF1はいきなりレベルがグ〜ンとアップするので、まずは1番から10番まではあんざん、11番以降はソロバンというハイブリッド方式で始める
- ⑤ 大体の目安として、④の方法でF1かけ算が5分間で25問くらいまで出来るようになると、まずはかけ算11番から20番を暗算で指導する(初めての3桁×2桁なので当初は多くの生徒がかなり戸惑う)
- ⑥ かけ算が暗算である程度(5分間で15問以上)できるようになると、次はわり算の11番以降を暗算で指導スタート
- ⑦ 同様にわり算のメドが付き始めたタイミングで見取り算の11番以降を暗算でやる(生徒によっては⑥と⑦が入れ替わる場合あり)

